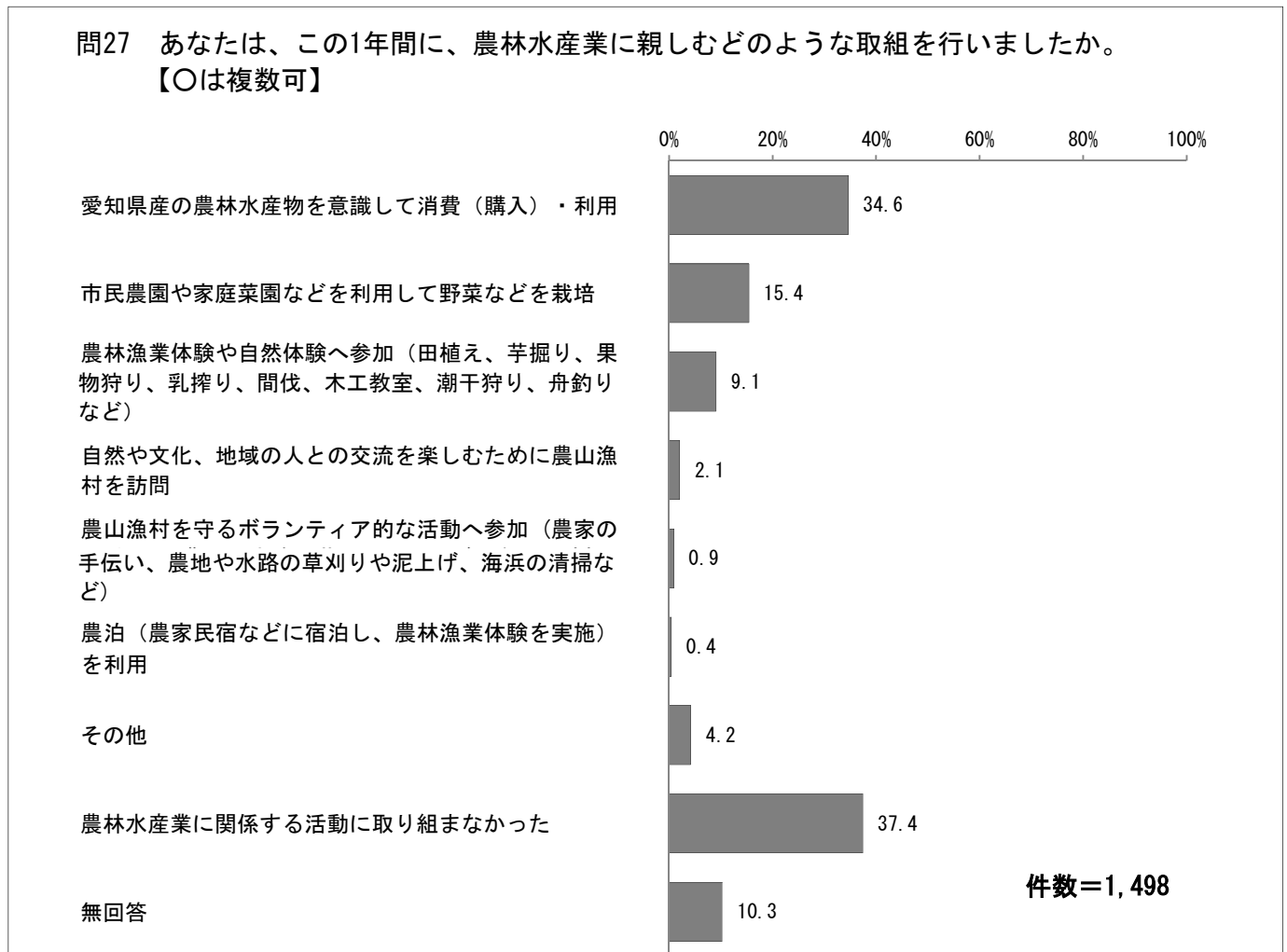


5 食と緑への関わりについて

(1) この1年間に行った農林水産業に親しむ取組

「愛知県産の農林水産物を意識して消費（購入）・利用」が34.6%



この1年間に行った農林水産業に親しむ取組について、「愛知県産の農林水産物を意識して消費（購入）・利用」と答えた人の割合が34.6%と最も高く、続いて「市民農園や家庭菜園などを利用して野菜などを栽培」（15.4%）、「農林漁業体験や自然体験へ参加（田植え、芋掘り、果物狩り、乳搾り、干伐、木工教室、潮干狩り、舟釣りなど）」（9.1%）の順となっている。

一方で、「農林水産業に関する活動に取り組まなかった」と答えた人の割合は、37.4%となっている。

この1年間に行った農林水産業に親しむ取組（性別、年齢別、地域別、職業別）

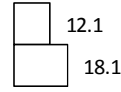
(%)

愛知県産の農林水産物を意識して消費（購入）・利用

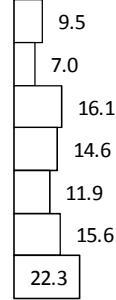
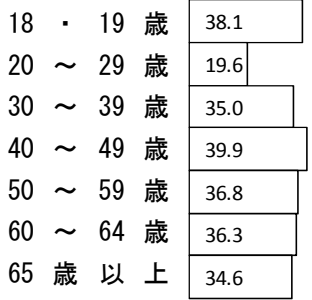
市民農園や家庭菜園などを利用して野菜などを栽培

農林漁業体験や自然体験へ参加（田植え、芋掘り、果物狩り、乳搾り、間伐、木工教室、潮干狩り、舟釣りなど）

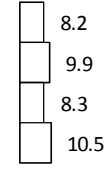
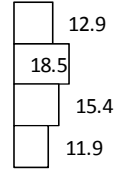
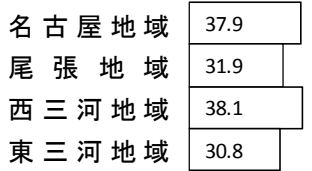
〈性別〉



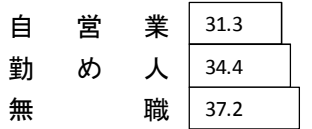
〈年齢別〉



〈地域別〉



〈職業別〉

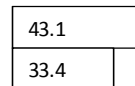
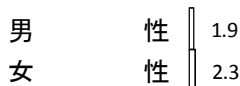


自然や文化、地域の人との交流を楽しむために農山漁村を訪問

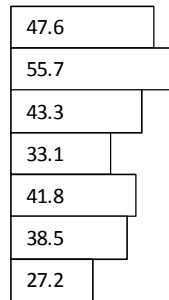
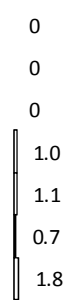
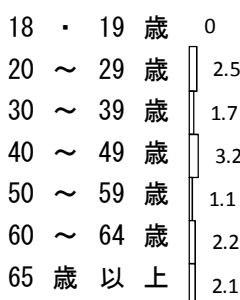
農山漁村を守るボランティア的な活動へ参加（農家の手伝い、農地や水路の草刈りや泥上げ、海浜の清掃など）

農林水産業に関する活動に取り組まなかった

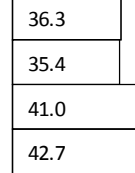
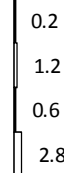
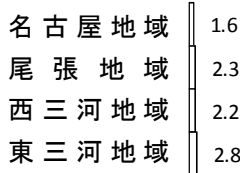
〈性別〉



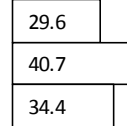
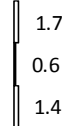
〈年齢別〉



〈地域別〉

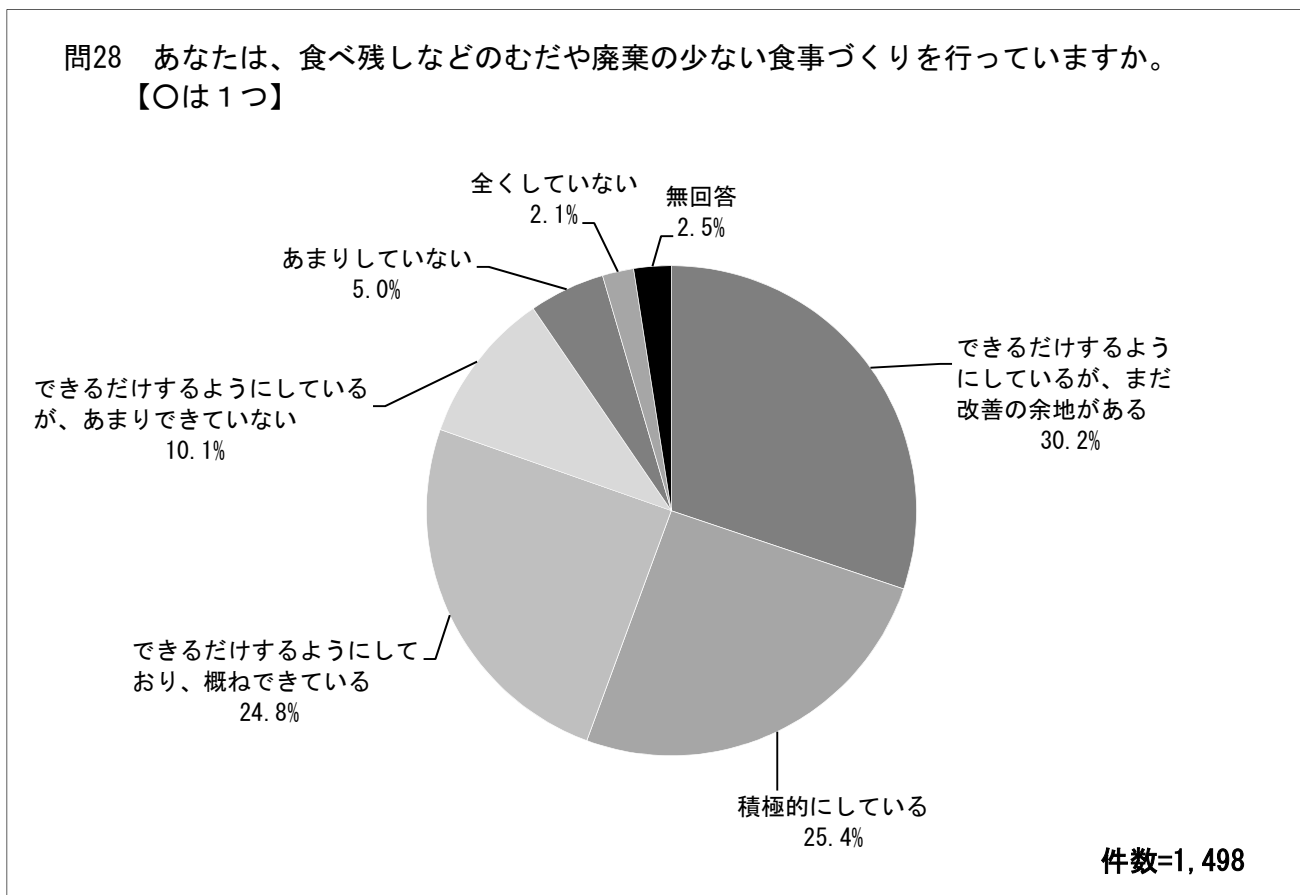


〈職業別〉



(2) 食べ残しなどのむだや廃棄の少ない食事づくり

「できるだけするようにしているが、まだ改善の余地がある」が30.2%

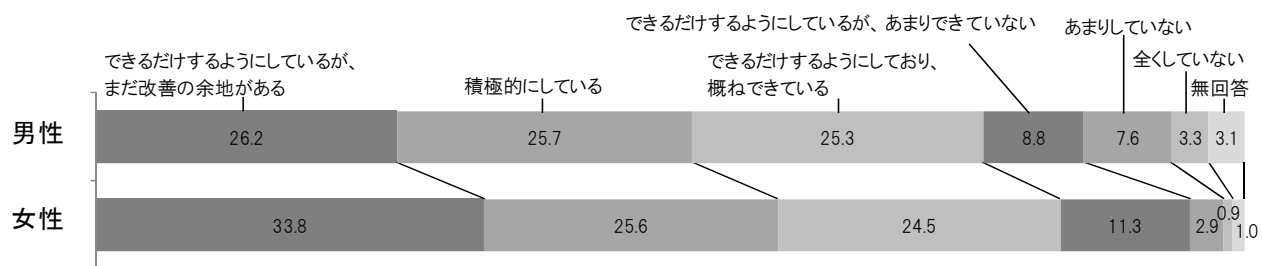


食べ残しなどのむだや廃棄の少ない食事づくりについて、「できるだけするようにしているが、まだ改善の余地がある」と答えた人の割合が30.2%と最も高く、続いて「積極的にしている」(25.4%)、「できるだけするようにしており、概ねできている」(24.8%)の順となっている。

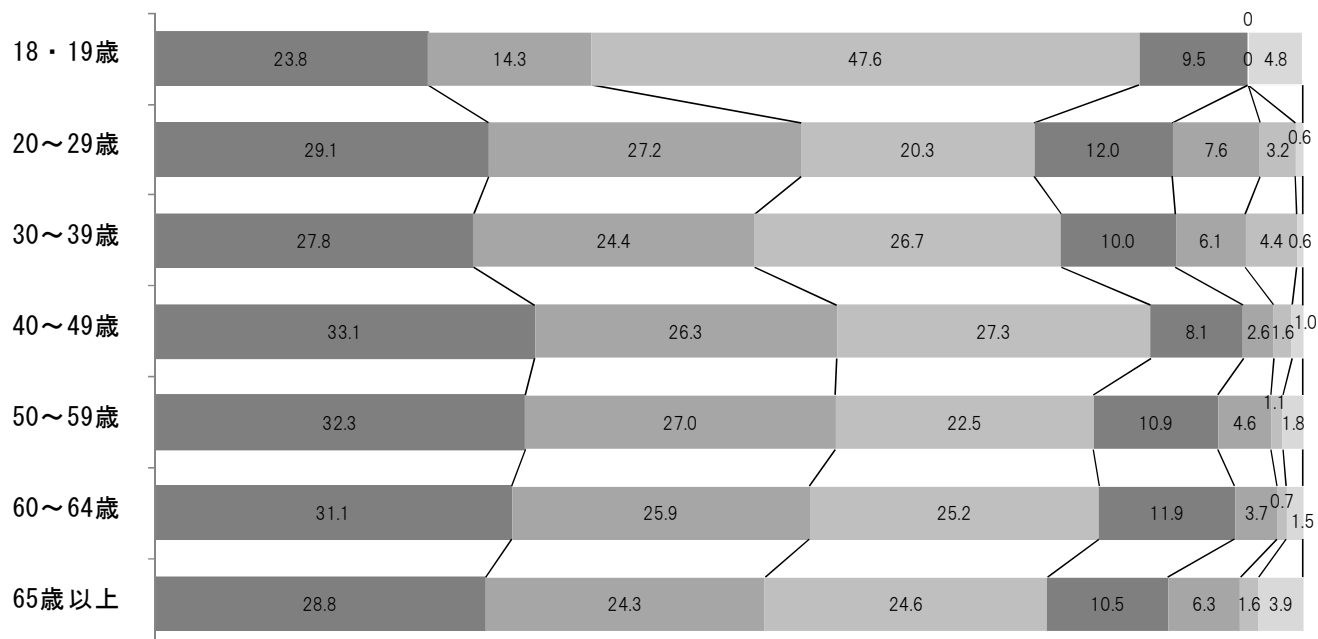
食べ残しなどのむだや廃棄の少ない食事づくり（性別、年齢別、地域別、職業別）

(%)

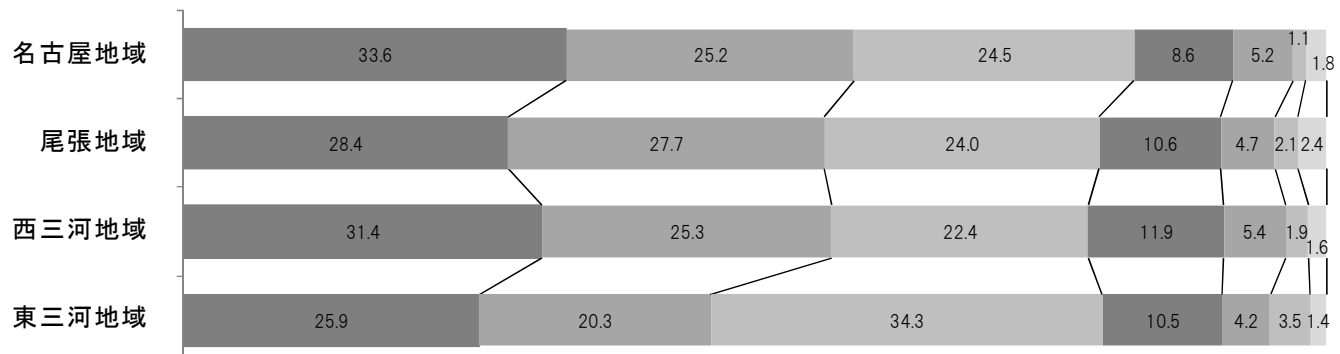
〈性別〉



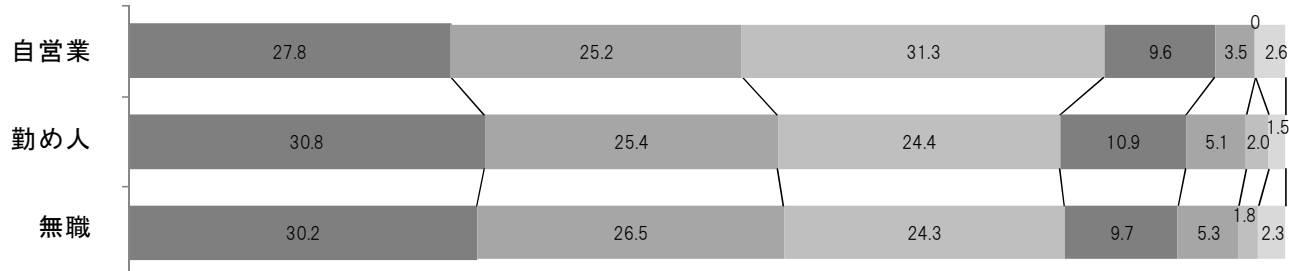
〈年齢別〉



〈地域別〉



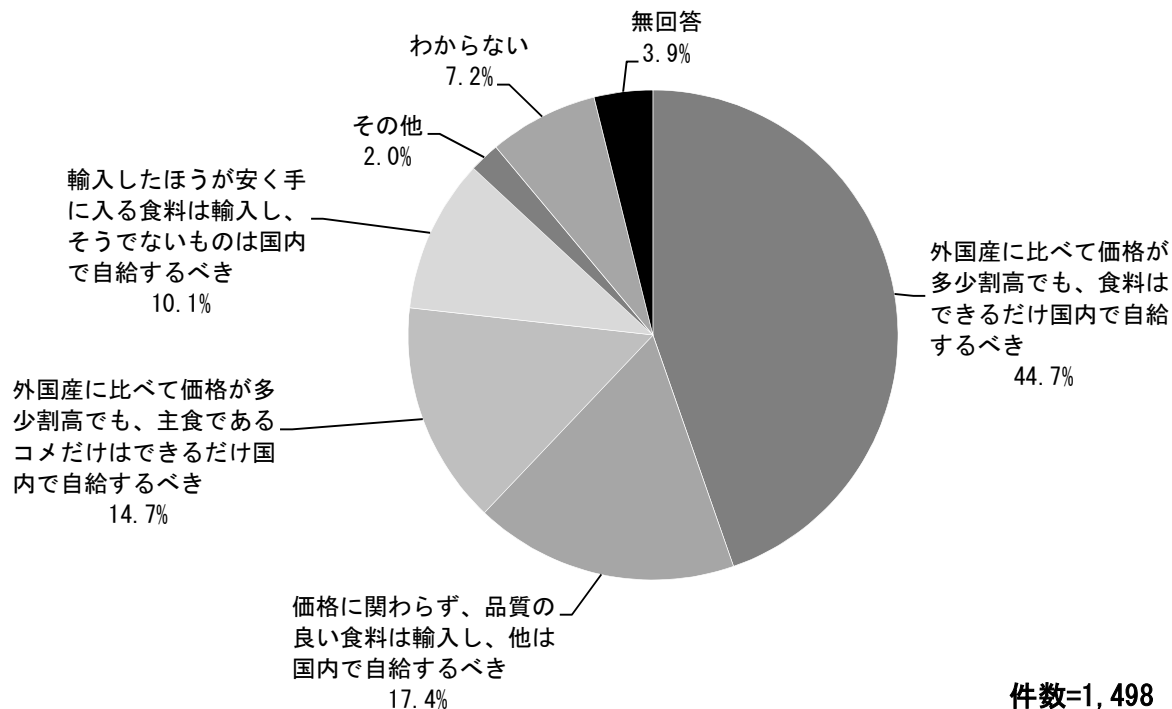
〈職業別〉



(3) 我が国の食料供給のあり方

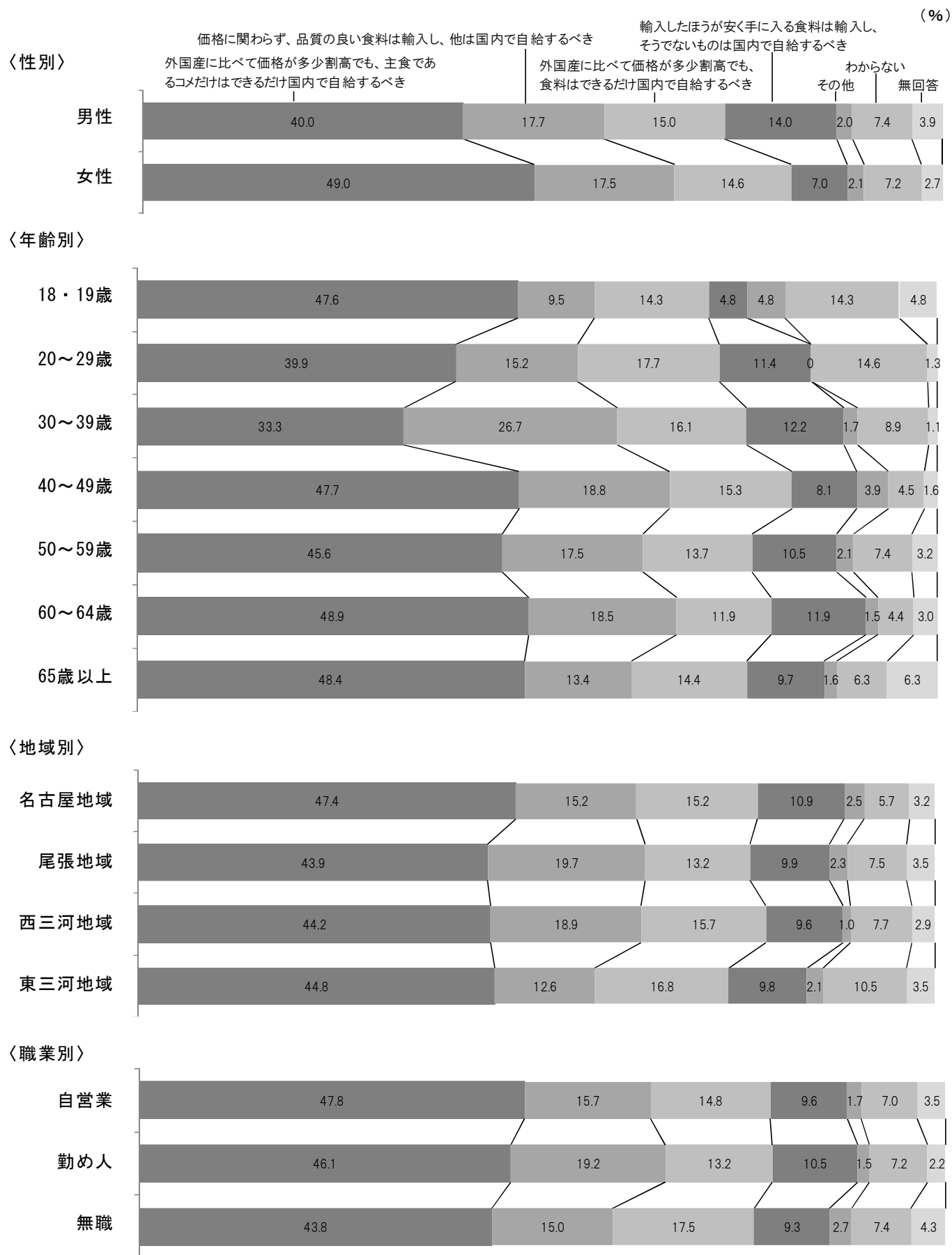
「外国産に比べて価格が多少割高でも、食料はできるだけ国内で自給すべき」が 44.7%

問29 日EU・EPAやTPP11の発効により、安価な農林水産物の輸入による国内生産への影響が懸念されます。あなたは、将来の我が国の食料供給のあり方について、どのような姿が望ましいと思いますか。【〇は1つ】



我が国の食料供給のあり方について、「外国産に比べて価格が多少割高でも、食料はできるだけ国内で自給すべき」と答えた人の割合が 44.7%と最も高く、続いて「価格に関わらず、品質の良い食料は輸入し、他は国内で自給すべき」(17.4%)、「外国産に比べて価格が多少割高でも、主食であるコメだけはできるだけ国内で自給すべき」(14.7%)の順となっている。

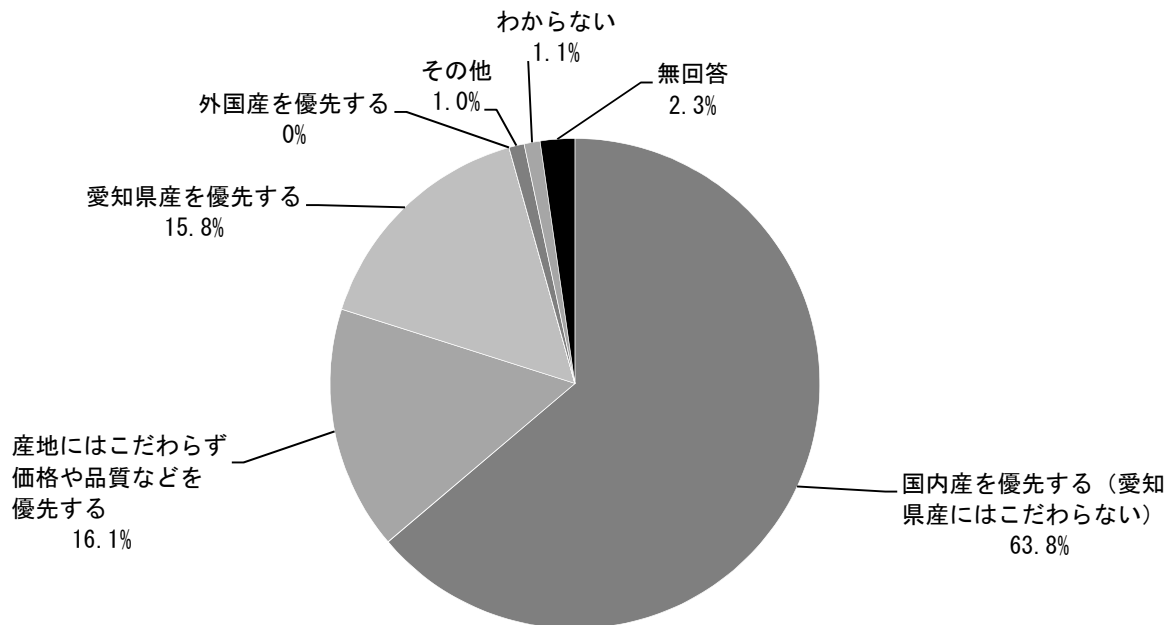
我が国の食料供給のあり方（性別、年齢別、地域別、職業別）



(4) 農産物等を購入する際に優先する産地

「国内産を優先する（愛知県産にはこだわらない）」が 63.8%

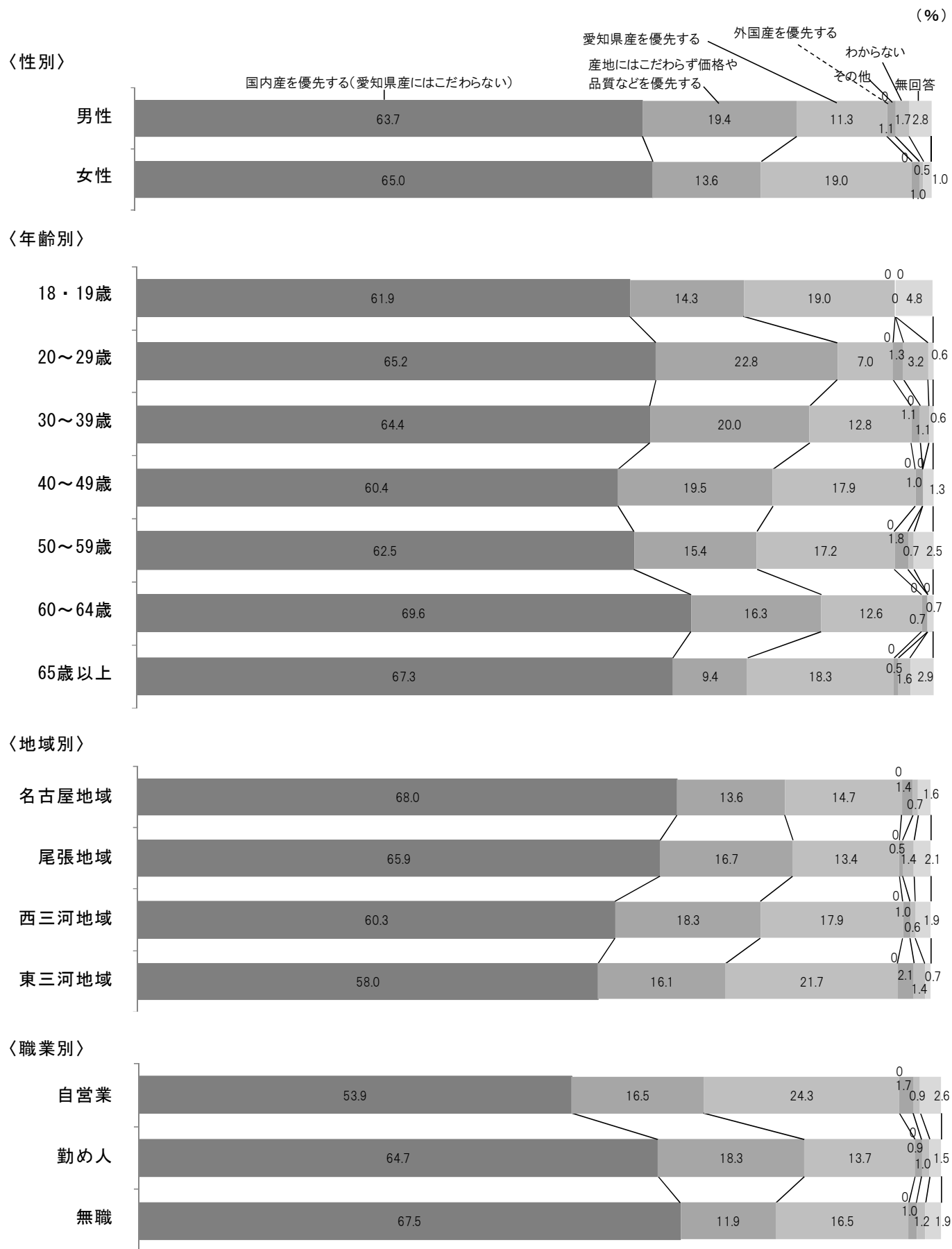
問30 あなたは、農産物等（米、野菜、果物、肉、卵、魚）の産地が明らかな場合、どのような産地を優先して購入しますか。【〇は1つ】



件数=1,498

農産物等を購入する際に優先する産地について、「国内産を優先する（愛知県産にはこだわらない）」と答えた人の割合が 63.8%と最も高く、続いて「産地にはこだわらず価格や品質などを優先する」（16.1%）、「愛知県産を優先する」（15.8%）の順となっている。

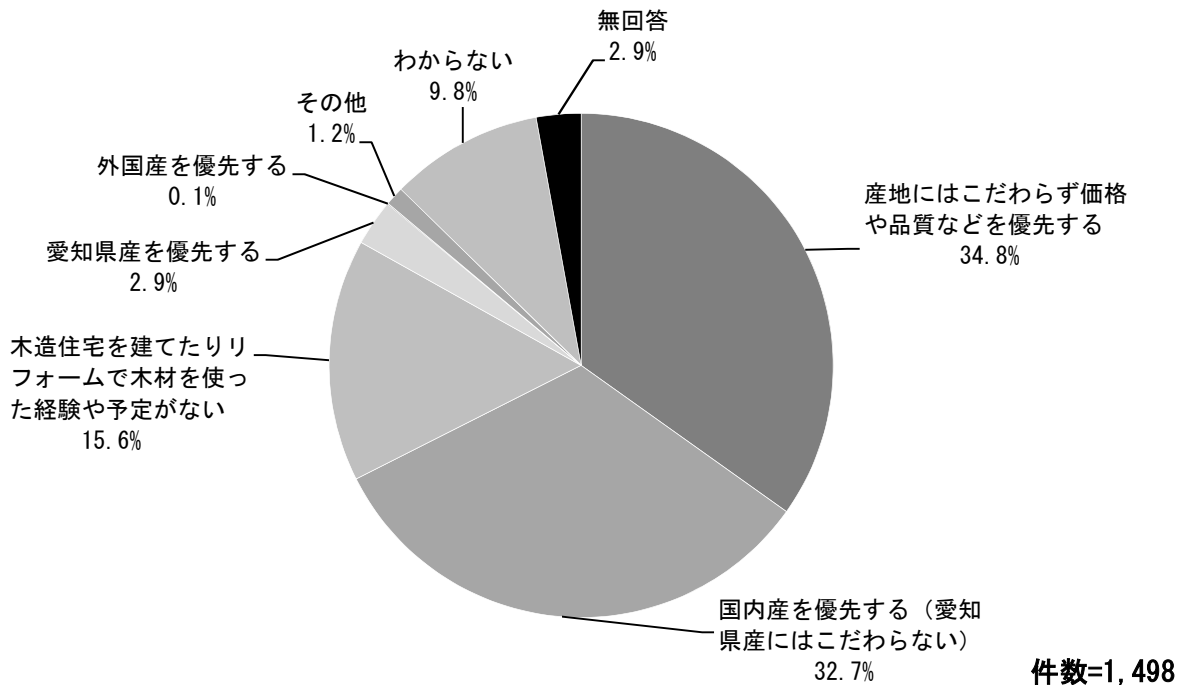
農産物等を購入する際に優先する産地（性別、年齢別、地域別、職業別）



(5) 木材を使う場合に優先する産地

「産地にはこだわらず価格や品質などを優先する」が 34.8%

問31 あなたは、木造住宅を建てたり、リフォームで木材を使う場合、どのような産地を優先しますか。過去の経験や将来の予定を含めてお答えください。【〇は1つ】

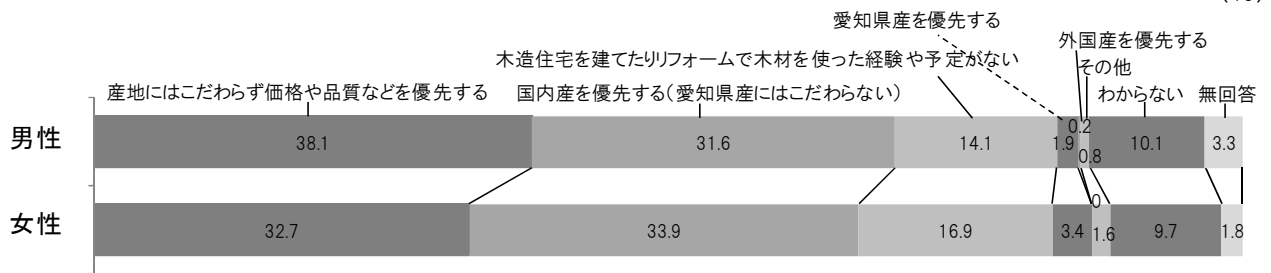


木材を使う場合に優先する産地について、「産地にはこだわらず価格や品質などを優先する」と答えた人の割合が 34.8%と最も高く、続いて「国内産を優先する（愛知県産にはこだわらない）」（32.7%）、「木造住宅を建てたりリフォームで木材を使った経験や予定がない」（15.6%）の順となっている。

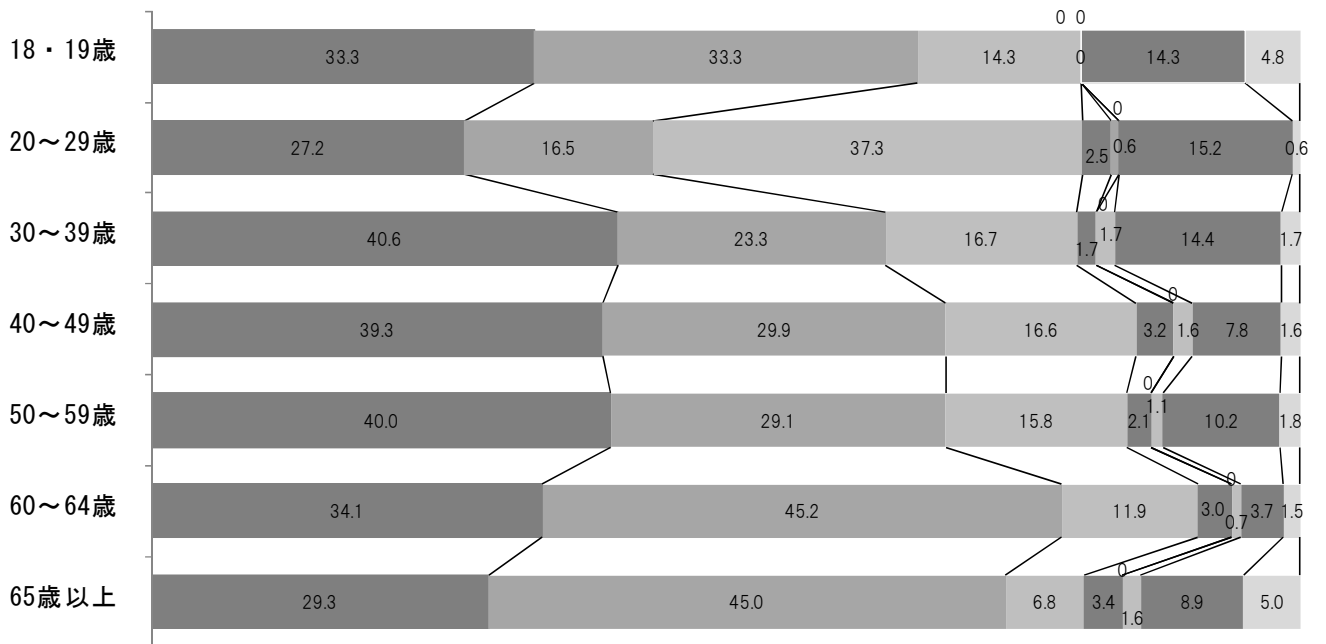
木材を使う場合に優先する産地（性別、年齢別、地域別、職業別）

(%)

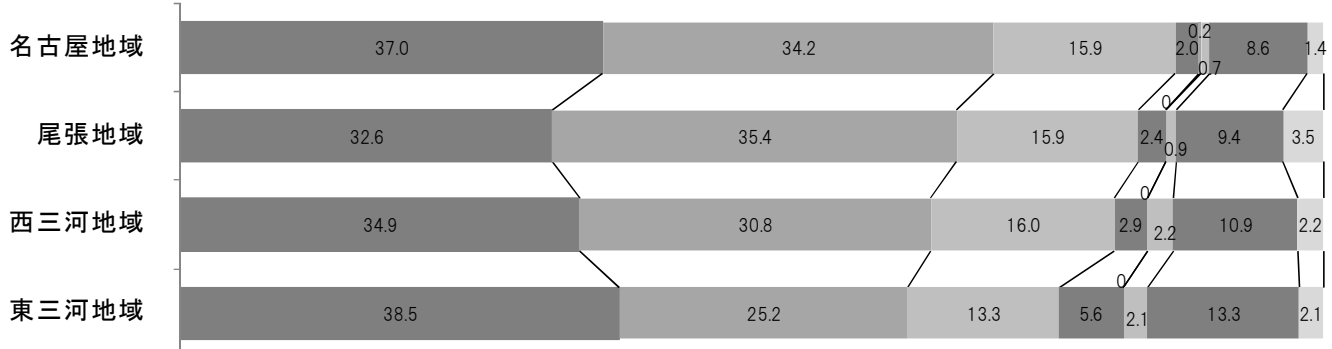
〈性別〉



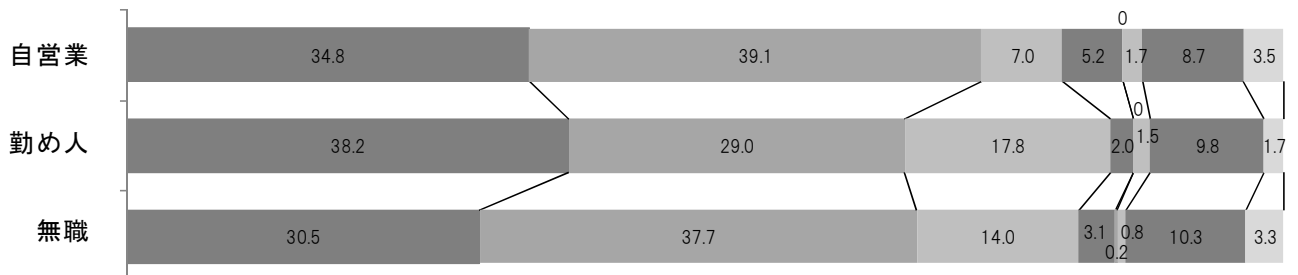
〈年齢別〉



〈地域別〉



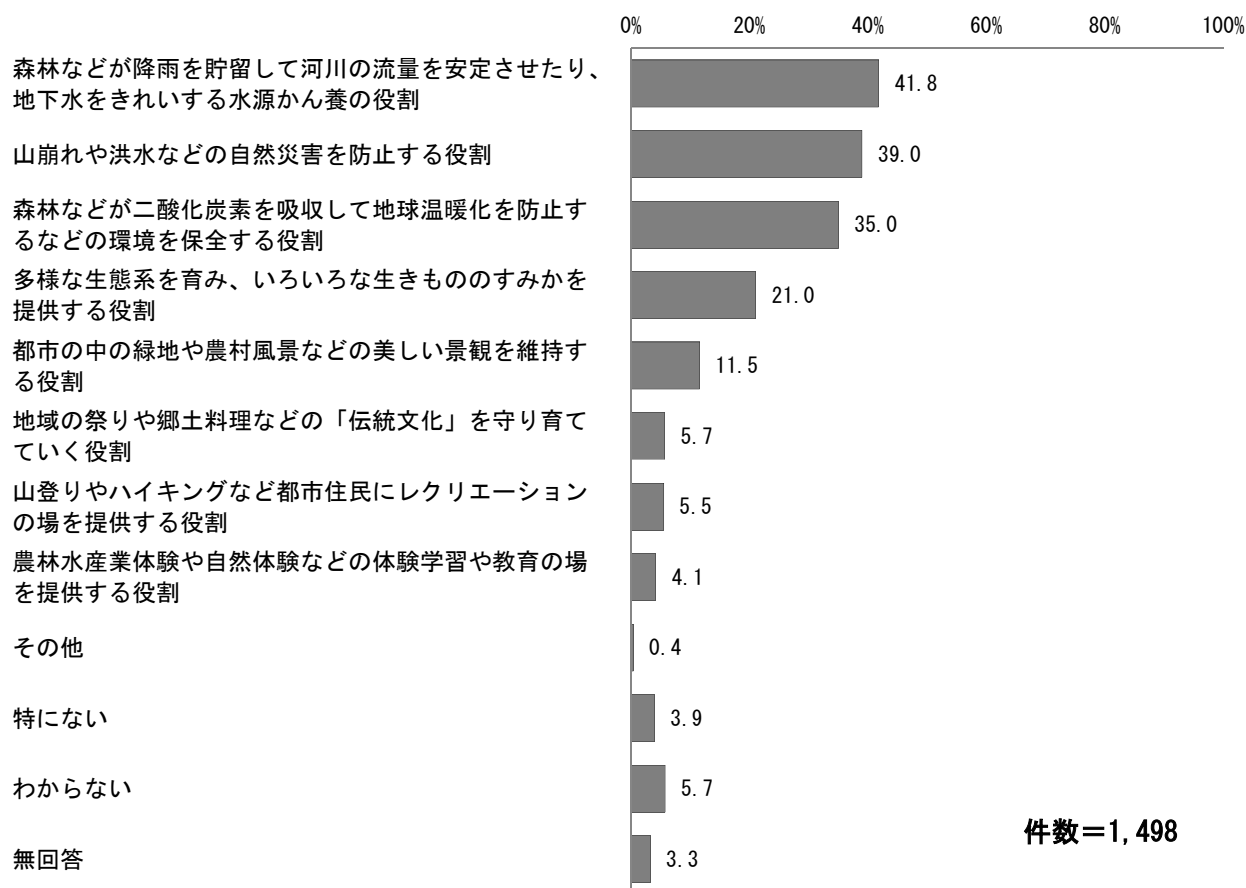
〈職業別〉



(6) 農林水産業や農山漁村に期待する多面的機能の役割

「森林などが降雨を貯留して河川の流量を安定させたり、地下水をきれいする水源かん養の役割」が41.8%

問32 農林水産業や農山漁村には、食料等を生産する機能のほかに、洪水を防いだり、美しい景観を保つなどの多面的機能があります。あなたは、こうした多面的機能の中で、特にどのような役割を期待しますか。【〇は2つまで】



農林水産業や農山漁村に期待する多面的機能の役割について、「森林などが降雨を貯留して河川の流量を安定させたり、地下水をきれいする水源かん養の役割」と答えた人の割合が41.8%と最も高く、続いて「山崩れや洪水などの自然災害を防止する役割」(39.0%)、「森林などが二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防止するなどの環境を保全する役割」(35.0%)の順となっている。

農林水産業や農山漁村に期待する多面的機能の役割（性別、年齢別、地域別、職業別）

(%)

森林などが降雨を貯留して河川の流量を安定させたり、地下水をきれいにする水源かん養の役割

山崩れや洪水などの自然災害を防止する役割

森林などが二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防止するなどの環境を保全する役割

〈性別〉

男性	44.7	34.3	34.0
女性	39.9	43.5	36.2

〈年齢別〉

18・19歳	23.8	42.9	33.3
20～29歳	30.4	34.8	27.2
30～39歳	33.9	37.2	35.6
40～49歳	39.9	39.6	34.7
50～59歳	44.6	41.4	38.9
60～64歳	45.9	51.9	38.5
65歳以上	50.0	36.4	35.1

〈地域別〉

名古屋地域	44.0	37.2	37.6
尾張地域	38.0	41.8	35.9
西三河地域	43.9	35.9	32.7
東三河地域	47.6	44.1	32.2

〈職業別〉

自営業	45.2	37.4	32.2
勤め人	40.2	38.7	39.2
無職	43.8	41.2	30.4

多様な生態系を育み、いろいろな生きものすみかを提供する役割

都市の中の緑地や農村風景などの美しい景観を維持する役割

地域の祭りや郷土料理などの「伝統文化」を守り育てていく役割

〈性別〉

男性	23.3	12.4	4.8
女性	19.6	10.6	6.6

〈年齢別〉

18・19歳	23.8	23.8	4.8
20～29歳	24.1	18.4	7.0
30～39歳	22.8	8.3	7.2
40～49歳	27.6	11.4	7.1
50～59歳	22.1	8.8	4.9
60～64歳	17.0	9.6	5.9
65歳以上	14.7	11.8	4.2

〈地域別〉

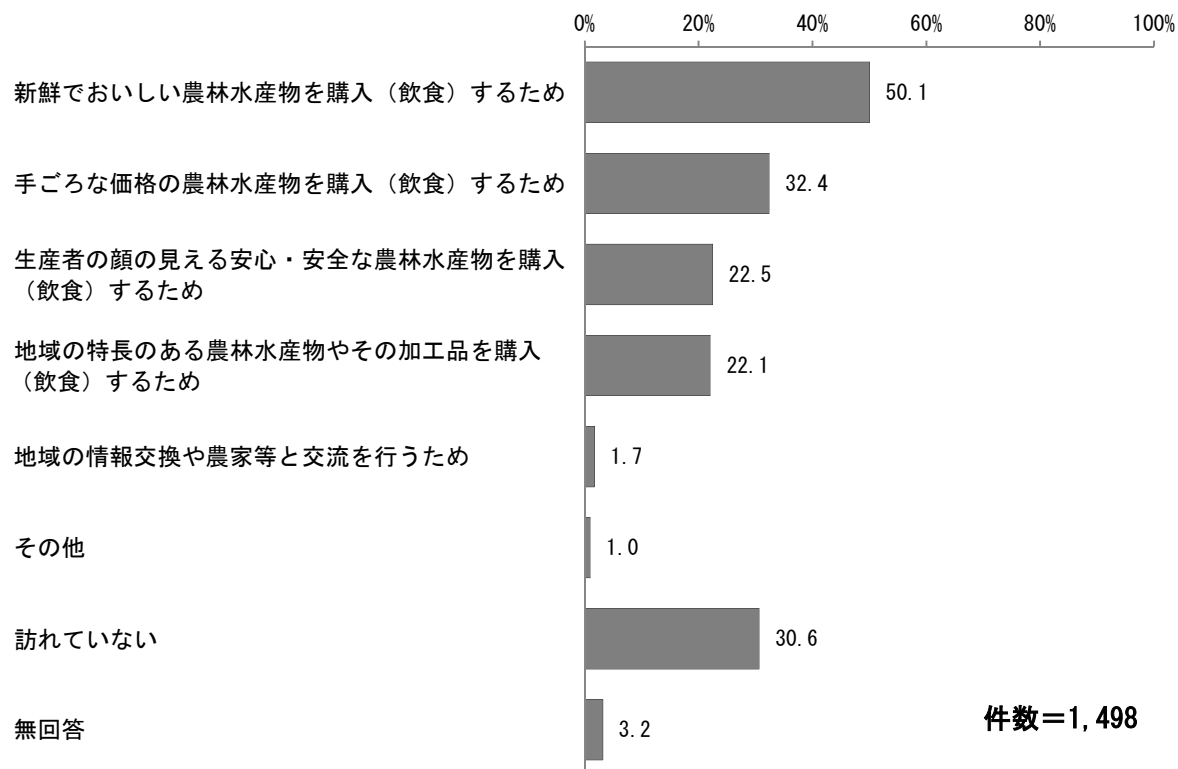
名古屋地域	23.1	12.5	6.1
尾張地域	20.2	10.3	5.6
西三河地域	20.8	12.5	5.8
東三河地域	19.6	9.8	5.6

〈職業別〉

自営業	22.6	8.7	6.1
勤め人	23.7	10.5	6.0
無職	17.1	13.4	5.4

(7) 最近1年の間に農林水産物を販売する直売所を訪れた目的
「新鮮でおいしい農林水産物を購入（飲食）するため」が50.1%

問33 愛知県には地域の農家や農協などが設置した、地場産の農林水産物を販売する直売所が多くあります。あなたは、最近1年の間に、どのような目的で直売所を訪れましたか。【○は複数可】



最近1年の間に農林水産物を販売する直売所を訪れた目的について、「新鮮でおいしい農林水産物を購入（飲食）するため」と答えた人の割合が50.1%と最も高く、続いて「手ごろな価格の農林水産物を購入（飲食）するため」（32.4%）、「生産者の顔の見える安心・安全な農林水産物を購入（飲食）するため」（22.5%）の順となっている。

一方で、「訪れていない」と答えた人の割合は、30.6%となっている。

最近1年の間に農林水産物を販売する直売所を訪れた目的（性別、年齢別、地域別、職業別）

(%)

新鮮でおいしい農林水産物を購入（飲食）するため

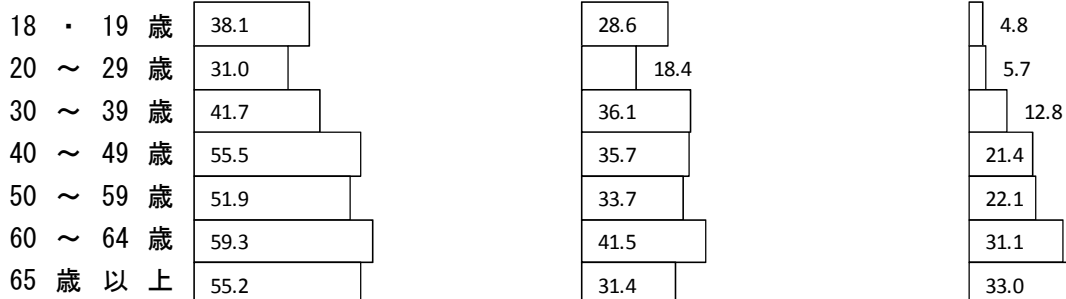
手ごろな価格の農林水産物を購入（飲食）するため

生産者の顔の見える安心・安全な農林水産物を購入（飲食）するため

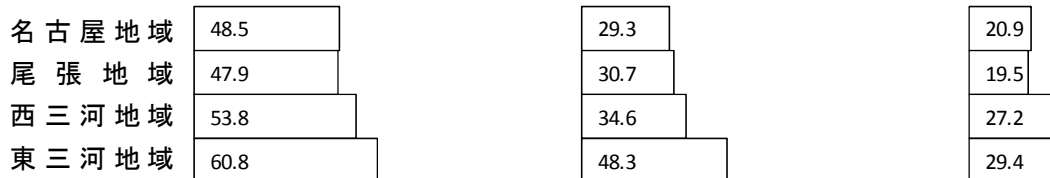
〈性別〉



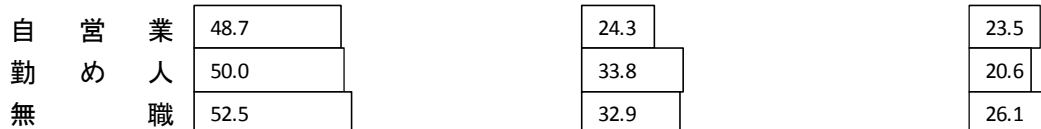
〈年齢別〉



〈地域別〉



〈職業別〉



地域の特長のある農林水産物やその加工品を購入（飲食）するため

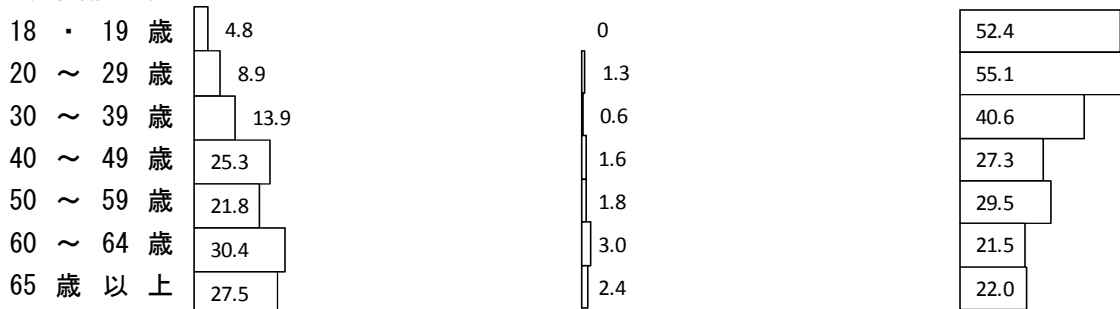
地域の情報交換や農家等と交流を行うため

訪れていない

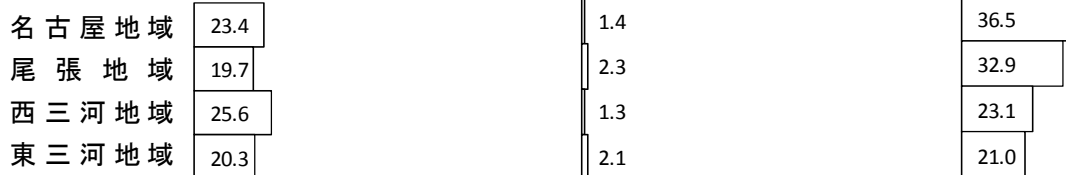
〈性別〉



〈年齢別〉



〈地域別〉



〈職業別〉

